

10-10 ガンカモ科鳥類の調査地別観察数ベスト5の推移

調査年月 (調査か所数)	8. 1 (210か所)	9. 1 (241か所)	10. 1 (287か所)	11. 1 (316か所)	12. 1 (319か所)
順位					
1	大阪市北港 17,385	淀川全域 8,875	淀川全域 9,887	淀川全域 9,078	淀川全域 8,570
2	淀川全域 5,548	大阪市北港 3,689	大阪市北港 4,784	大阪城公園 3,285	大阪市北港 6,225
3	大和川全域 4,649	大阪城公園 3,074	大阪城公園 2,764	神崎川全域 2,633	大阪城公園 3,032
4	安威川全域 2,976	大和川全域 2,564	鶴見緑地 2,585	大和川全域 2,050	鶴見緑地 2,721
5	平林貯木場 1,052	安威川全域 2,527	大和川全域 2,413	泉大津埋立地 1,897	大和川全域 2,538

(注1) 表中、上段は調査地名、下段は観察羽数

(注2) ガンカモ科鳥類の生息調査は、毎年冬期に日本に渡来するガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況を把握するために、環境庁の呼びかけにより昭和44年度から全都道府県が一斉に実施している。

10-11 カモ類観察数種別順位

(平成11年度)

順位	種名	観察数(羽)	%
1	ホシハジロ	22,834	52.4
2	ヒドリガモ	5,529	12.7
3	コガモ	2,702	6.2
4	スズガモ	2,301	5.3
5	マガモ	2,238	5.1
6	ハシビロガモ	2,095	4.8
7	キンクロハジロ	1,934	4.4
8	カルガモ	1,789	4.1
9	オナガガモ	659	1.5
10	オシドリ	651	1.5
11	オカヨシガモ	544	1.2

10-12 ニホンジカの生息頭数の推移

(単位：頭)

調査年度	昭54	57	60	63	平3	6	9
推定生息数(頭)	60	200	365	341	480*	660***	800~900

(注) ※平成3年度の調査は能勢地域のみ。「480*」は、昭和54年から昭和63年までの生息数の増加率、有害駆除・狩猟による捕獲数を参考に試算したもの。

※平成6年は分布域のみ調査し、生息数推定のための調査を行っていない。「660***」は、フィールドサインの出現状況をもとに試算したもの。